

花巻の仕事

Made in HANAMAKI



ノンアルコールシードル

自家農園で収穫された新鮮なリンゴだけを使用。果汁をワイン酵母でゆっくりと発酵させることで、素材そのものが持つ甘みや酸味を生かしたフルーティーな味わいに仕上げられています。アルコール度数1%未満と飲みやすく、お酒の弱い女性などにもお薦めです。

会社名 社会福祉法人 悠和会

所在地 幸田第4地割116-1(☎32-1788)

会社概要 平成13年設立。障がい者の就労支援施設や、高齢者の介護施設などを運営。農業と福祉の連携で、農業の担い手の問題や、障がい者が生き生きと働ける環境づくりに貢献したいと、さらなる展開を目指す

■**どんな勧誘があるの？**
業者から「4月から電力の小売りが自由化になる。売電する際の電気価格が高くなるので、今のうちに太陽光発電システムを設置しておくともうかる」と電話があった。設置料金は200万円ほどで、ローンを組むと月々1万円の支払いだという。しかし売電価格が約束されていないわけでもなく、ローンを抱えることに不安になった

- **注意することは？**
電力の小売り自由化を口実に、さまざまな勧誘が行われています。電力小売り自由化と直接関係のない契約は、必要性をよく考えましょう
- 「料金が安くなる」や「必ずもうかる」などと勧誘された際には、その条件をよく確認しましょう
- 小売電気事業者は登録制です。登録している事業者か確認しましょう
- **困ったときは？**
本庁市民生活総合相談センター(☎24-2111 内線259)へ

市民生活コーナー

電力小売り全面自由化
便乗商法に注意!

療法としてのヨガを通じ健康維持 一人一人の意識を高めたい



▲「しゃがみ込みのポーズ」: 気の充実と下半身の筋力アップに効果的なポーズ(膝痛、股関節痛のある方はご注意ください)

佐々木 孝子 さん
(大迫町仲町 53歳)

NPO法人国際ヨガ協会 岩手花北支部長で、市民涯学習講師としても活動する佐々木孝子さん。高齢者や障がいのある方などに、それぞれのニーズに合わせた指導を行っています。

◆**ヨガを始めたいきっかけは**
ヨガがブームだった学生時代、テレビで見たのがきっかけです。柔軟性には自信があったので、ヨガを教える人になりたいと単純に思い、働きながらヨガの教室に通いました。恩師への感謝の思いを忘れることはありません。

◆**指導の際に心掛けていることは**
ヨガのポーズや動きには一つ一つ意味がありますが、ポーズの習得よりも、その方の体の状態に合った動きで無理をさせないポーズとなるように心掛けています。そうするためにも、相手の方をよく聞き取りするようにしています。

◆**今後の目標は**
高齢者を寝たきりにさせないために、介護予防に対する一人一人の意識を高めていけるよう活動を続けていきたいです。そのためにもまず自身研鑽を積み、進化していきたいと思っています。同じ意識を持って活動をするサポーターが増えてくればいいですね。

いきいき仲間たち



フラワーアレンジメントで
地元を応援

はなみずきの会

【問い合わせ】
代表 佐々木 タク子 さん(☎45-5029)



地元で生産されたランの花をメインに、持ち寄った草花を飾り付ける会の皆さん

フラワーアレンジメントを作り、販売まで手掛ける「はなみずきの会」。もともとは、八日市地区・富沢の同年代の女性が集まるお茶飲みグループとして活動していました。フラワーアレンジメントを作るようになったのは平成26年12月から。会の皆さんの「地元で頑張る若い花卉生産者を応援しながら、地域を盛り上げたい」という、強い思いがきっかけです。

以来、生産者の男性1人をメンバーに加え、さらにフラワーアレンジメントの講師を招き、技術を磨きながら活動を続けています。

会の一員となった石森徹さんは「みんなの応援に励み、きれいな花を咲かせたい」といふ。代表の佐々木さんは「活動を通して少しでも地域のお役に立ちたい」と意欲的。会の皆さんの作るフラワーアレンジメントが地域に笑顔と彩りを与えています。

世界と花巻

The world and HANAMAKI

vol.35



花巻市国際都市推進員
ガットマン・ジェシー

日本とアメリカQ&A

毎日の生活の中で受けた面白い質問に答えます。今回は「アメリカでは家の中でも靴を履いているのか」という質問です。

実は、アメリカでは、その人の習慣によって異なります。私の場合、ずっと日本人と同じように玄関で靴を脱いでいました。アメリカ人の傾向を調べると「靴は必ず脱ぐ」と「あまり気にしない」の二つに分かれ、特に雪がたくさん降る(=靴が汚くなりやすい)北部では、靴を脱ぐ習慣があるようです。

カナダやヨーロッパでは、大抵の人が靴を脱いで生活しています。彼らに同じ質問をすると「なぜ日本の文化として思われているのかわかりません。私たちも家の中では靴を脱いでいるんですから」と答えるでしょう。

ほかにも、「アメリカ人は傘を使わないの？」

という質問もよくされますが、実際にはアメリカ人も傘を使います。

日本とアメリカで傘を使う人数を比べれば、アメリカの方が少なく見えるかもしれませんが、これはアメリカの面積が広く車社会であることが関係しているといわれています。雨が降っていても、駐車場から目的地までの短い距離なら、傘を差さずに歩こうと考えます。

しかし靴の話と同じように、雪や雨の多い地域や、歩く機会の多い大都会などでは、車を運転するかどうかにかかわらず、ほとんどの人が傘をよく使います。



雨のニューヨーク